



父

が出られなかった

箱根駅伝を

親子で目指したい



Profile

黒岩勇禪選手

越生小学校 - 越生中学校 - 武蔵越生高校 - 中央学院大学 2年生駅伝部

中学校時代から本格的に陸上を始め、高校時代に入部した陸上部では埼玉県高校新人大会 5000m で優勝するなど選手として力を発揮。

箱根駅伝 4区 6位、総合 19位

1 月2・3日、第100回東京箱根間往復大学駅伝競走（通称：箱根駅伝）に越生町出身の黒岩勇禪選手が出場しました。4区（往路の終盤に向けた重要な区間）を走り終え、町長に表敬訪問された際の内容をお伝えします。

黒岩勇禪選手が

表敬訪問しました

1月7日（日）に、黒岩選手が表敬訪問しました。黒岩選手は越生町出身。「第100回東京箱根間往復大学駅伝競走」に出場しました。

黒岩選手は中央学院大学駅伝部の選手として活動をしています。箱根駅伝では無事4区を完走し、新井町長に報告されました。



▲黒岩選手と新井町長

大会出場おめでとうございます。大会の雰囲気はどうでしたか

ありがとうございます。

大会前日はすんなり寝られましたが、当日の選手招集の時に緊張がピークになりました。同じ大学のメンバーに肩をたたいてもらって緊張をほぐしてもらいました。すごく緊張して臨んだ大会でしたが、走る直前の招集のアナウンスが聞こえず、スタートに入るのが遅くなってしまいました。ギリギリで襷を受けるとラブルがあり、色々考えていたことが吹き飛び、頭の中が空っぽの状態であることになりました。かえって良い状態で走ることができたかもしれません。笑

陸上をはじめたきっかけは

父が走っていてそれについていった事が始まりです。親子マラソンと一緒に出場した時に楽しかったことを覚えています。本格的に陸上を始めたのは中学校の部活動に入ってからです。幼い頃からお正月は箱根駅伝を見ていました。実際に見に行ったりもしていて、中学校の立志発表会では、父と陸上の関係や、箱根駅伝を走りたいと発表しました。



▲大会で使用したユニフォーム

▼大会で使用したシューズ



お父さんに伺います。勇禪さんの幼少期と、共に箱根駅伝を走れたお気持ちは

勇禪は幼少期、特に足の速いではありませんでしたが、体力がビックリするほどありました。3歳の時に三輪車で出かけるご自分で3時間は帰らせてくれました。笑

当初、給水はチームメイトが行う予定でした。中央学院の監督は私の大学時代の恩師でもあり、大会の一週間前の富澤合宿を訪問し監督から直接、「給水はお前に任せる」と言われました。25年前に踏めなかった箱根路を親子で走らせてもらい監督には感謝です。



▲表敬訪問時にはお父さんも来ていただきました。

もともと4区を希望していたのですか

私は5区（山登り）の予定でスカウトされていました。初めて現地で観戦した時も5区だったので5区を走る気でした。

昨年の11月に山登りの大会があり、うまく走れずチーム内2位の成績になってしまいました。幼い時から5区を走るのが夢だったので、4区と言われた時はショックでした。親から連絡があっても返信をしないほど、ふさぎ込んでしまいました。



▲給水所で父から得た「力水」



▲サイン入りポスターは役場正面玄関掲示板にあります

そんなときに、父の給水が決まり、驚いたのと同時に嬉しい気持ちがありました。父からの給水の時には、いつも聞いている声が聞こえて安心し、親子マラソンの時の楽しかった気持ちを思い出しました。給水の水は文字通り「力水」になりました。

おこせの子ども達へ一言
お願いします

越生町は越辺川沿いの土手やしらさぎ団地の坂、世界無名戦士の墓の坂など陸上に適した環境があります。

今は、走る事を全力で楽しみたい
しよう！

